

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果より

令和3年10月 敦賀市立角鹿中学校

5月27日、全国の中学生3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。9月に全国の調査結果が明らかになる中、本校の結果を分析し、再検討しました。これまでの小中一貫教育の取り組みのあり方とともに、全教科での指導方法の改善を、今後進めてまいります。ご家庭でもお子様と、学習に取り組む状況について振り返り、見直す参考にしていただきますようお願いいたします。

【本校の得意なところ】

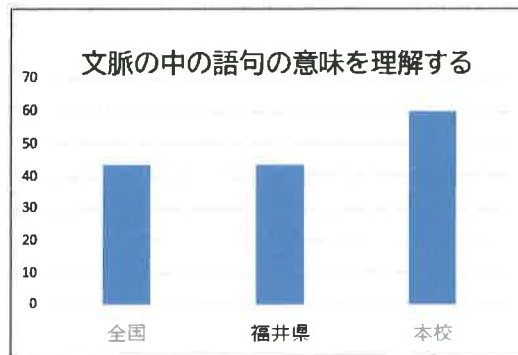
国語科

◎文脈の中の語句の意味理解が優れており、文章に表れているものの見方・考え方を捉え、自分の考えを持つことができる。

◎相手や場に応じて敬語を適切に使い、伝えたいことを効果的に書く力が身につけている生徒が多い。

☆正しく読む力を伸ばすための課題や、N I Eの継続的な取組の成果が出ています。

☆課題作文や活動のふり返しなどを書く活動において、「自分の考えを明確にして書く」「適切な言葉を用いる」ことに真剣に向き合ってきたことが、表現力の向上に結びついています。



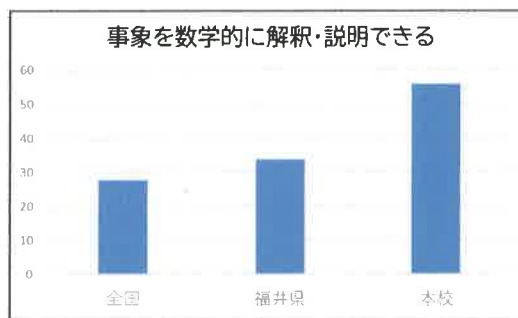
数学科

◎各分野において「知識・理解」が優れ、また、計算をはじめとした「技能」も身につけている。

◎図形、関数について「数学的な考え方」が身につけている生徒が多い。

☆計算コンテストなどを通して計算力を高めて、基礎的な学習を積み重ねた成果が出ています。

☆課題と向き合っじっくりと考えることや、数学的な用語を使って説明することを積み重ねてきた成果が出ています。



全体を通して

◎全国と比べて、良好な結果が出ています。

◎自分の考えを持ち、それを表現することができています。

☆変化が激しい社会を生き抜くには、人と関わる力や、表現する力が大切になります。授業やその他あらゆる場面で、自信を持って自分の考えを表現する力の向上を目指します。

生徒質問紙より

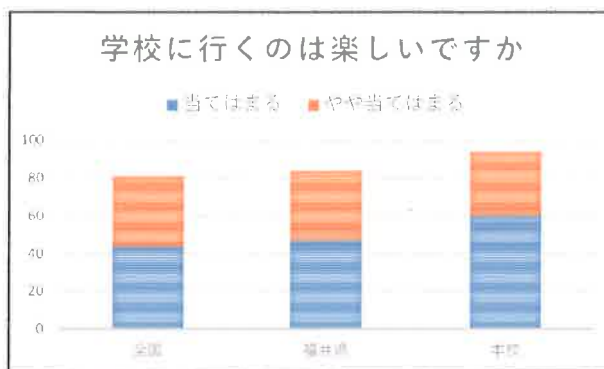
◎毎日朝食をしっかりと、規則正しい生活ができている人がたいへん多いです。

◎「自分には良いところがある」、「友達と協力するのが楽しい」、「自分でやると決めたことはやり遂げる」などとポジティブに答えている割合が全国と比べてもたいへん高いです。



☆今まで取り組んできた「ポジティブ教育（ピア・サポート、レジリエンス）」の成果が表れており、プラスの考え方や、あきらめずに前向きに取り組む力につながっています。

そういったことが「学校が楽しい」と感じる人の割合が高いことの要因になっています。



【さらに力を伸ばすために】

★各教科の課題のポイントとは？

国語科

◎これから先、高めていきたい国語の力は

- ★教科書の語句や表現を言いかえたり、要約したりする力
- ★自分の考えの根拠を説明したり、他の考えと比べたりする力



☆変化が激しい社会を生き抜くには、まず文章の意味を正確に理解する「読解力」が求められます。さらに、自分の考えを持ち、発信することも大切です。伝え方には「主張→理由→逆論→結論」などの「型」を使う力もつけていきます。

数学科

◎これから先に高めていきたい数学の力は、

- ★資料やグラフなどから、必要な情報をとらえる
- ★問われていることを読み取り、数学的、論理的に説明する



☆数学に限らず、他教科でも「資料やグラフ」を読み取ったり、それを使って論理的に説明することが少なくありません。社会で必要とされる力であり、数学を通して学んでいます。他とのつながりを意識して、自分が苦手としていることの克服を支援していきます。

より良い自分づくりに向けて

「毎日2時間以上は勉強している」と回答している人が約70%おり、全国と比べて高い結果となっています。しかしその一方で、読書時間が短い人の割合が高いです。

- 1日あたりの読書量が10分以内、または全くしない…64%（全国は約49%）

☆毎日やらなければならないことがたくさんあって、なかなか時間を作ることができないかもしれませんが、毎日10分間の読書時間を確保したり、休日にゆっくりと読書を楽しむ時間がとれるといいですね。

規則正しい生活リズムはすべての基本です。今できていることを継続しながら、「読書をする」、「新聞を読む」など、新しいことにもぜひチャレンジすることを勧めています。

